

建築構造用圧延鋼材 JIS G 3136 SN材

特長

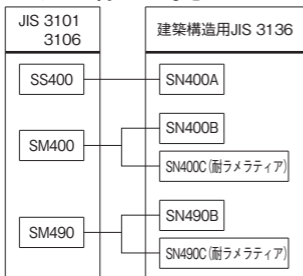
1. 新耐震設計法で求められている鉄骨構造の耐震性能を確保するため、鋼素材が保有すべき建築特有の性能を規定した「建築構造専用」の鋼材です。
2. 耐震性の確保という観点を中心に以下の規定がなされています。降伏点の上下限值規定（ ΔYP ）、降伏比（降伏点/引張強さ）、シャルピー吸収エネルギー、板厚方向の規定（C鋼種）、溶接性を確保するための規定（炭素当量 C_{eq} ）他
3. 厚さの許容差（マイナス側）が厳格に規定されています。

鋼材仕様

建築構造用圧延鋼材（JIS G 3136）

種類の記号		強度・靱性				溶接性
種類の記号	適用厚さ (mm)	ΔYP 、 YR	シャルピー吸収エネルギー	Z方向 絞り値	UST (形鋼除く)	C_{eq} (Mn、P、S)
SN400A	6以上100以下	—	—	—	—	—
SN400B	6以上100以下	●	●	—	Option	●
SN400C	16以上100以下	●	●	●	●	●
SN490B	6以上100以下	●	●	—	Option	●
SN490C	16以上100以下	●	●	●	●	●

SS、SM材との対応



規格使用区分

	使用区分
SN400A	溶接のない、塑性変形を生じない部材または部位
SN400B SN490B	主要構造部材または溶接する部材、部位
SN400C SN490C	溶接組立加工時を含め板厚方向に大きな引張応力を受ける部材または部位

尚、溶接性に優れた熱加工制御（TMC）材もご指定いただけます。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものでない限り、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。